

特集 人と人がつながる場所 街なか図書館



ありた ゆき
有田 有紀さん(38)
＝松橋町＝
「色彩の建築展」を開催

街なか図書館は、美術館のような華やかさはありませんが、地域の人々の交流の場であり、そこで展示できたのは新鮮で面白かったです。ボランティアの方も、ありのままの自分を受け入れ見守ってください、自由に表現ができました。ここは、居心地も良く、いつ訪れても待っていてくれる人がある「まちの縁側」のようなところだと思います。春にも濱まちで「身体」をテーマにした展覧会を開く予定です。美術家としてワークショップやパフォーマンスなども行って、子どもから大人まで幅広い年代の人に楽しさを伝えられる表現ができたらと思っています。



▲い草を使った伝統工芸とのコラボ作品などを展示(出町)。



▲タマネギの皮などで染めた小物を展示(濱まち)。草木染の会会員による賛助出品の展示も行われました。

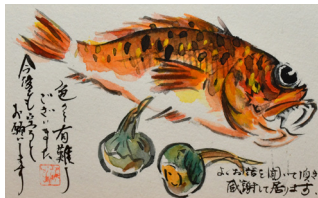


おの たけひろ
小野 雄弘さん(79)
＝不知火町＝
出町で初の個展を開催

退職を機に、宇城市に移り住み、不知火美術館の絵画講座で本格的に絵を始めました。津志田千恵美さんが私の絵を見て気に入ってくださったのがきっかけで、展覧会のお誘いをいただきました。私なんかが個展を開いて大丈夫かなと不安でしたが、ボランティアの方たちから励ましてもらい、無事開催できました。仕事柄、全国各地を訪ねましたが、街なか図書館のように住民の手で図書館をつくり地域の活性化を行っているのはすごいことだと思います。出町の蛇嶋さんご夫婦など素晴らしい人たちにも出会えてうれしいです。またここで個展をやってみたいです。



▲退職後14年間で描いた風景画や家族などの人物画を展示しました。



▲個展の来場者一人一人に感謝の気持ちを込めた絵手紙を送っています。



つしだ ちえみ
津志田 千恵美さん(68)
＝不知火町＝
押し花の展覧会や体験会を開催

押し花教室の生徒さんが街なか図書館のボランティアをしているのがきっかけで、展覧会や体験会の開催、小さな作品などを提供しています。熊本地震の余震が続く中、作品を展示したり体験会を行ったときは、被災された方たちが遠くからも来てくださいました。これからも、自分ができることで図書館を知ってもらい、運営にも貢献できたらうれしいです。ギャラリーでいろいろな分野の素晴らしい作品を身近に鑑賞できるのも街なか図書館の魅力ですね。松橋町以外の皆さんにも、宇城市の図書館・ギャラリー・憩いの場としてもっと利用してほしいです。



「優美」



「光と影と風」



▲押し花の作品と制作中の押し花

各教室(濱まち)

教室や会議にどうぞ。
学習スペースもあります。
使用料 1時間200円
・折り紙教室「折り鶴の会」
(第2月曜 13時～)
・絵手紙教室
(第1月曜 13時～)
・戦争学習会



ショップ＆カフェ

ボランティアの人や家族、地域の人の手作りの小物や食品などを販売しています。この収益は、図書の購入費などに充てられます。お子さんのグッズもありますよ。コーヒーなどの飲み物も有料で提供しています。



オレンジカフェ

カフェ濱まち 毎月第2水曜 カフェ出町 毎月第4水曜 いずれも午後1時～3時 参加費 200円
「高齢社会を健康で楽しく過ごすために気兼ねなく語り合い、ともに歌い、憩いのひとときを」と、運営ボランティアの福田知子さん(61)＝松橋町＝の提案で、今年8月から始められました。「小学校の頃の思い出」など毎回テーマを決めて自己紹介。初めての人同士でも話が弾みます。何十年ぶりに再会し、近況を話すこともあるそうです。地域包括支援センターとの連携も始まっています。

ギャラリー

美術館と違って、静かに鑑賞しなくても大丈夫。作者やボランティア、一緒に来た人と作品について語りましょう。絵画や書、押し花、地元の学校とコラボした作品展などが開催されています。ミニコンサートや体験会も。毎月のイベントは「ウキカラ」でも紹介しています。今月は40ページをご覧ください！
展示料金 両館合わせて1週間1000円

子ども広場 水曜15時30分～17時30分

本を読んだり、学習したりする子どもたちだけの特別な時間。



みなもと ゆい か 峯元 優依香 さん(11) 塩村 未来 さん(12)
＝不知火町＝ 松橋町＝

2人は松橋小の6年生。毎週のように、水曜の子ども広場の時間に来ています。「ここは落ち着いて居心地がよく、ボランティアさんも優しいです。子どもだけの時間として空けてもらっているのはうれしいです。同じ小学校の友だちでも、街なか図書館に行ったことがない人もいるので、広めたいと思います」

